

弘前大学（本町）放射線安全総合支援センター研修棟（仮称）新営
地盤調査業務

図面リスト

通し番号	図面番号	図面名称
1	0 / 1	表紙・図面リスト
2	特記 / 1	地盤調査特記仕様書
3	1 / 1	本町団地配置図・調査場所配置図

発注図		弘前大学施設環境部					業務名 弘前大学(本町)放射線安全総合支援センター研修棟(仮称) 新営地盤調査業務	年.月.日	図面番号
								2025. 3	
		部長	課長	課長補佐	係長	担当	図面名称 表紙・図面リスト	縮尺	0
								—	1

地盤調査特記仕様書										
A. 調査概要										
調査名称	弘前大学(本町)放射線安全総合支援センター研修棟(仮称)新営地盤調査業務									
調査場所	青森県弘前市本町118-3(弘前大学本町団地構内)									
調査期限	令和7年5月16日(金曜日)									
調査内容	(1) 機械ボーリング一式(5) 報告書作成一式									
	(2) 標準貫入試験一式									
	(3) 孔内水平載荷試験一式									
	(4) 土質試験一式									
B. 一般特記事項										
総則	1. この調査の受注者は、国立大学法人弘前大学設計・監理等業務委託契約事務取扱細則(細則第28号)の第6条に規定する測量調査等請負契約要項、特記仕様書1枚、図面2枚(表紙含む)、文部科学省地盤調査標準仕様書(平成23年版)に基づき調査を実施する。									
その他	2. 特記仕様書の適用方法									
	1) ・印で始まる事項及び表中の・印の事項は、○印を付した事項のみ適用する。									
	2) ――で抹消した章及び項目の当該特記事項は、すべて適用しない。									
	3) 表中の数字、文字又は記号を記入する事項は、記入してある事項のみ適用する。									
	4) 左欄の()内の数値は、文部科学省地盤調査標準仕様書の該当番号を示す。									
	(1) 請負代金の支払い									
	請負代金は、弘前大学財務部財務管理課より、設計図書に示す調査内容が全て完了した後に1回で支払うものとする。									
	(2) 測量調査等請負契約要項の運用について									
	要項第4条の規定により、業務工程表を提出する。									
	(3) 貸与資料について									
本調査の参考資料として、次の報告書を貸与する。なお、貸与資料は調査完了後すみやかに返却すること。										
・										
(4) 工事用電力										
○ 発電機等による。										
(5) 工事用給水										
○ 給水ポリタンク等による。										
(6) その他										
○ 調査孔は、監督職員の指示により処理する。										
○ 調査完了に際しては、後片付け及び清掃する。										
・										
C. 特記事項										
1章 一般共通事項										
(1. 1. 4) 登録	業務実績情報の登録○ 登録する									
(1. 3. 10) 作業の検査	次について検査を行う。									
(1. 3. 11) 作業の立会い等	機械ボーリングの掘進完了後、検尺を行う									
(1. 5. 1) 報告書等の提出	標準仕様書に定めがあるもの以外で、次に示す作業段階及び事項については、監督職員の立会いを受ける。									
	(1) 調査位置、仮BMの決定									
	(2) 設計図書に明示した地層構成と著しく異なる場合									
(2. 1. 2) 調査	報告書等は標準仕様書によるほか、次のものを提出する。									
	報告書等の提出部数は、2部とする。									
2章 機械ボーリング										
(2. 1. 2) 調査	機械ボーリングは、次による。									
	ボーリングNO	方向	深度(m)	孔径(mm)	粘性土	砂質土	礫質土	数量	(m)計	備考
	1	鉛直下	GL-30	φ66	6	22	2		30	
発注図	特記事項									

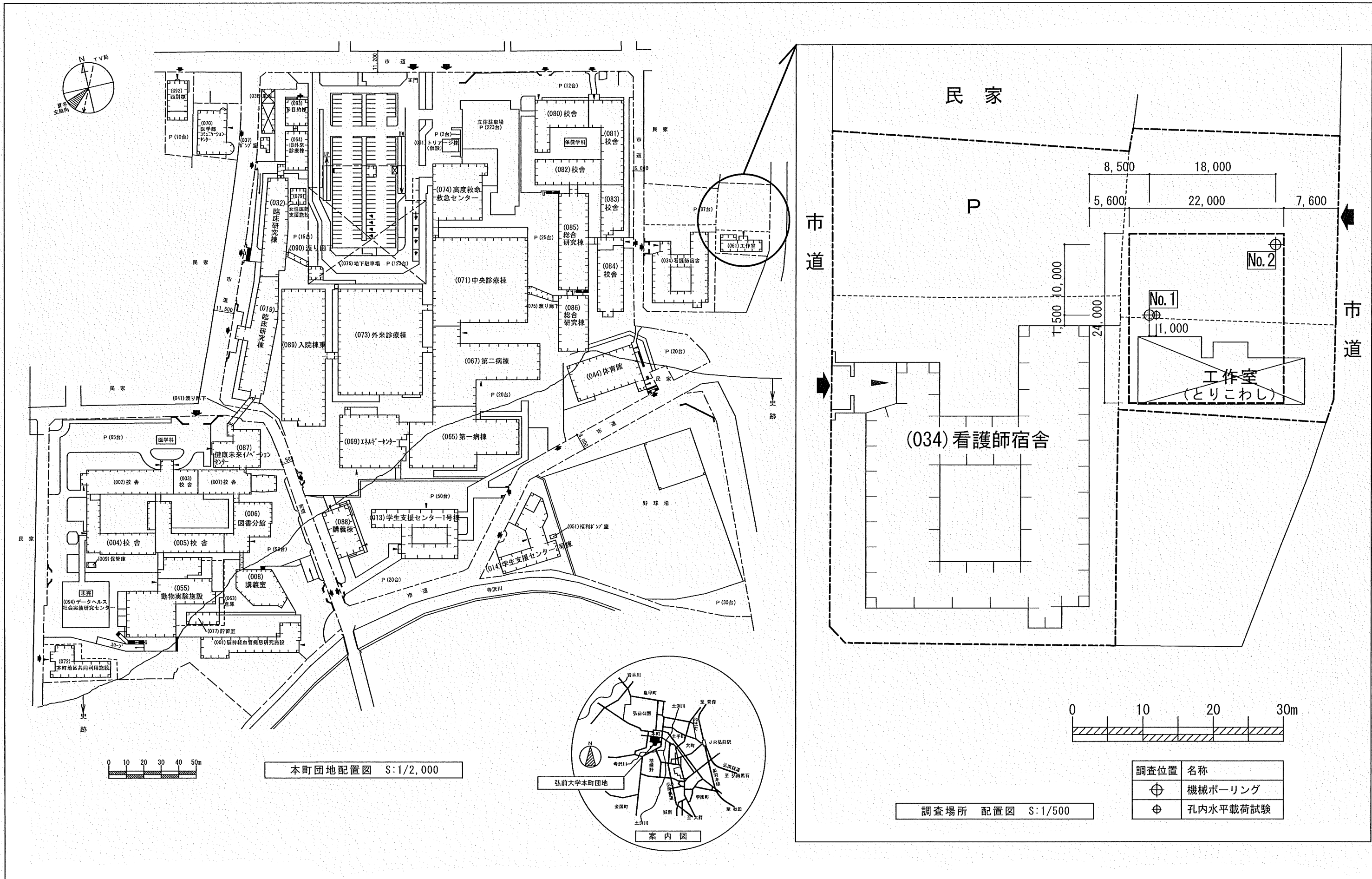
ボーリングNO	方向	深度	孔径	数量					(m)	備考	
		(m)	(mm)	粘性土	砂質土	礫質土			計		
	2	鉛直下	GL-30	φ66	6	22	2			30	
ボーリング機械											
3章 サウンディング											
(3. 1. 2) 試験	試験	標準貫入試験は、次による。									
		試験位置	試験深さ					備考			
		ボーリング No 1	ボーリング 長さと同じ								
	ボーリング No 2	〃									
(3. 2. 2) 試験	試験	測定間隔									
		〃									
	(3. 2. 2) 試験	試験	オランダ式二重管コーン貫入試験は、次による。								
			試験位置・	試験深さ					備考		
図示による											
(3. 3. 2) 試験	試験	スウェーデン式サウンディング試験は、次による。									
		試験位置	試験深さ					備考			
		図示による									
	(3. 4. 2) 試験	試験	ポータブルコーン貫入試験は、次による。								
			試験位置	試験深さ					備考		
図示による											
4章 載荷試験											
(4. 1. 2) 試験	試験	孔内水平載荷試験は、次による。									
		試験位置	試験深さ					数量	備考		
		図示による	GL-3m・GL-7m					計2箇所	粘性土層		
	(4. 4. 2) 試験	試験	平板載荷試験は、次による。								
			試験位置	試験深さ					計画最大荷重	備考	
図示による											
載荷方法 ・ 段階式載荷 ・ 段階式繰返し載荷											
5章 物理探査・検層											
(5. 1. 2) 調査	調査	速度検層(PS検層)は、次による。									
		測定位置	測定深さ					備考			
		ボーリング No									

(5. 2. 2) 試験	試験	測定間隔											
		〃											
	(5. 3. 2) 試験	試験	弾性波探査は、次による。										
			側線配置	受振点間隔	起振点間隔	備考							
図示による													
(5. 3. 2) 試験	試験	常時微動測定は、次による。											
		測定位置	測定深さ	測定箇所数	備考								
		ボーリング No											
	(5. 3. 2) 試験	試験	掘削孔径										
			換振器の固有周期										
〃													
6章 地下水調査													
(6. 1. 2) 試験	試験	現場透水試験は、次による。											
		試験位置	試験深さ		備考								
		ボーリング No											
	(6. 1. 2) 試験	試験	掘削孔径										
			試験方法										
〃													
7章 サンプルサンデ													
(7. 1. 2) サンプルング	試験	土質試験に用いる資料のサンプリングは、次による。											
		資料の状態	対象土質	採取位置	採取深さ	数量	採取方法						
		乱さない資料	粘性土				標準仕様書による						
	(7. 1. 2) サンプルング	試験	資料の状態	対象土質	採取位置	採取深さ	数量	採取方法					
									乱した資料	砂質土			
8章 土質試験													
(8. 1. 2) 土質試験	試験	土質試験の項目及び試験数量は、次による。											
		区分	試験項目	土質	試験方法	数量	備考						
		物理的性質試験	土粒子の密度試験	砂質土	JIS A1202	4 試料							
	土の含水比試験		砂質土	JIS A1203	4 試料								
	土の粒度試験		砂質土	JIS A1204	4 試料								
	(8. 1. 2) 土質試験	試験	力学的性質試験	土の一軸圧縮試験	粘性土	JIS A1216	試料						
				土の三軸圧縮試験	粘性土	JGS 0521	試料						

発注図	業務名		弘前大学(本町)放射線安全総合支援センター研修棟(仮称)		年・月・日		図面番号
			新営地盤調査業務		2025. 3		
	図面名称		地盤調査特記仕様書		縮尺		
					-		

弘前大学施設環境部

1



発注図

特記事項

弘前大学施設環境部

業務名	弘前大学(本町)放射線安全総合支援センター研修棟(仮称) 新営地盤調査業務	年.月.日	2025.3	図面番号	1
図面名称	本町団地配置図・調査場所配置図	縮尺	1/2,000, 1/500		1